

稲作緊急特報

令和2年8月2日

黒 部 市
黒部市農業技術会議

主力品種「コシヒカリ」は出穂期を迎えています。今後は病害虫防除を適期に実施するとともに、適切な水管理により、安全・安心で高品質な黒部米に仕上げましょう！

1 病害虫防除

畦畔等におけるカメムシ類の発生量が平年より多くなっています。【7月6日：注意報発表】
出穂状況を確認し、適期に防除を行いましょ。

【コシヒカリの基本防除の目安：粉剤または液剤の場合】

防除時期	防除日(目安)	使用農薬	散布量/10a(希釈水量/10a)	使用基準(収穫前日数)
1回目 出穂期	8/2頃	粉剤：ビームモンカットスタークルF 粉剤5DL	4kg/10a	14日前まで
		または 液剤：ビームエイトスタークルソル +モンカットフロアブル	薬量 150 ml 希釈水量 150 l (1,000 倍液)	14日前まで
2回目 穂揃期	8/9頃	粉剤：キラップ粉剤 DL	4kg/10a	14日前まで
		または 液剤：キラップフロアブル	薬量 150 ml 希釈水量 150 l (1,000 倍液)	14日前まで

- ・散布時期の間隔は7日間を目安とします。(10日以上あけないように)
- ・畦畔雑草にも薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・ラベルの記載事項を確認してから使用しましょう。
- ・風向きと風速、散布量等に注意し周辺の作物への飛散防止に努めましょう。

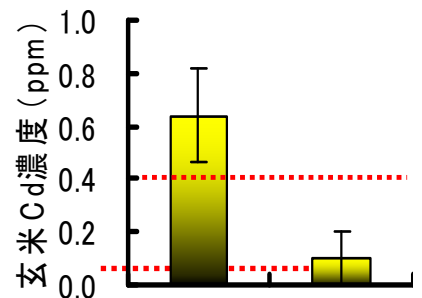
2 出穂後の水管理

稲の活力維持と品質向上、カドミウム吸収抑制のため、出穂から20日間は田面が出ないように、湛水管理を徹底しましょう。

【湛水方法】

- ・水深3cm程度に湛水し、田面が露出する前に再度入水する。
- ・みんなで協力し、限りある用水を有効に利用する。

○水のかけ流しは絶対しない。
○水尻はしっかり止める。
○畦畔から漏水がないか点検する。



間断灌溉 20日湛水

図 水稻の出穂後の水管理と玄米中のカドミウム濃度
産米流通対策地域の県有施設ほ場での試験結果(農研, コシヒカリ)

20日間の湛水管理の後、収穫の5~7日前まで間断かん水を行いましょ。